

学校だより

よく考え
よく考える子励まし合って
励まし合う子やりぬく子
やりぬく子TEL : 69-2029 FAX : 69-4448 HP-URL : <http://www.tanpopo.ne.jp/~ohyabu/index.htm>

「あったかフラワーガーデンの花をさかせよう！」の成果

19 ⇒ 16 ⇒ 8

保護者、地域の皆様、あけましておめでとうございます。平成28年は、おかげさまで大きな事故もなく、子どもたちの成長と取り組みの成果がたくさん見えた年でした。平成29年もよろしく願いいたします。

突然ですが、クイズです。「上の数字はいったい何でしょう？」何かの数の変化を表しているのは分かると思いますが・・・。

答えは、児童会が「あったかフラワーガーデンの花を咲かせよう！」という取り組みを行っている期間の欠席者の変化です。（家の用事で休んだ児童を除く）つまり、取り組みを始めたばかりの1週間で合計19人の児童が休んでいたのに、2週目、3週目と進むうちに16人⇒8人と減っていったのです。

思いやりの心をたいせつにして、「仲間に温かい言葉がけをしよう。」「あだなで呼ぶことや呼び捨てはやめて、さんをつけて呼ぼう。」と心がけているうちに、偶然かもしれませんが、病気やケガによる欠席者がどんどん減っていったのです。

この成果に気付いていなかったプログラム委員さんたちでしたが、12月14日に行われた児童集会では、「いい雰囲気作りができていいるから、人権週間が終わっても取り組みを続けよう。」と全校に呼びかけ、「あったか言葉」「あったか行動」を増やす活動をしました。

すると、12月19日（月）には、病気やケガによる欠席が0（ゼロ）になったのです。驚くような成果です。「みんなが温かい気持ちで生活すると病気やケガも減る。」というのは、本当みたいです。

すばらしい取り組みをしたプログラム委員さん、その呼びかけに応えた全校のみなさん、大藪小学校を「みんなが誇る学校」に近づけることができましたね。

大藪小学校の子どもたちの「優しい気持ち」「思いやりの気持ち」が表れた行事が他にもありました。

12月15日（木）に、大藪こども園の皆さんを招待して、1年生が心を込めて作った「あきのおもちゃらんど」で遊んでもらったのです。



迷路コーナー



さかなつりコーナー

小学校の中では一番年下の1年生ですが、「こども園の子たちよりも年上なんだ。」という自覚をしっかりとって、優しくルールを教えたり、お手本を見せたりできました。

1年生の子にとっても、こども園の園児にとって

も、たいへん心地よい時間でした。

このような行事も、「人権」につながるたいせつな活動だと考えています。

文責 校長 小椋英吏